

いわみざわ



IWAMIZAWA

発行所 陸上自衛隊 隊地会
 岩見沢市 日出国1-3
 北海道 立福社 村
 北空知郡 栗沢町 最上350
 〒 (0126) 45-2721
 印刷所

北の大地で鍛える

天塩川で渡河訓練

第三三六施設中隊は、中隊長鈴木英明二等陸尉を核心として、渡河能力の向上を図るため、七月八日から十四日の間、人員約百四十名、車両約五十台の規模で、第三施設団（恵庭市）の浮橋中隊の協力を得て、天塩川で渡河訓練を実施しました。

この訓練は、防衛出動はもとより、災害派遣をもちにらんだ訓練で、橋が流出した時を想定して、河川に迅速に応急橋梁などを架設することを目的としたものです。
 本訓練では、自走架柱橋、自走浮橋、ゴムボートを組み



合わせて川巾約百六十mの河川に約二時間半で架設しました。

今回最も力を入れたのは、コンピューター、ビデオなどを活用した、より効果的な訓練を企画したことです。ここでは、隊員の充足率の低下や訓練時間の短縮及びOA機器の発達等を背景に、一度実施した訓練をビデオやコンピューターに記録し、訓練を再構築することを狙いとして実施しましたが、各場面を再現して問題点を全員で討議することにより、どのように行動すべきかを各人に理解させ、訓練の効率を飛躍的に増大させる事が出来るようになりました。

この訓練に参加した隊員は、「もう一度自分達の訓練を再認識する場が与えられ、大変有意義でした」と語っていました。

さらに、七月十一日には天塩町民とのスポーツ交流（フットボールの親善試合）、十二日には訓練公開（三十五名）をして、訓練最終日の十三日夕には天塩町民と隊員によるバーベキュー大会を宿営

地で実施し周辺の人々との交流を図りました。
 このように、天塩川での渡河訓練は大きな成果を得て終了しました。このような訓練



の積み重ねが、水害の多い空知地区においても十分に活用できる事と確信して岩見沢自衛隊では、日夜訓練に励んでおります。

RC工事「夢区間」

第十二施設群は、昨年度の「めがね新道工事」RC工事」に引き続き、今年度も五月十一日から十一月中旬までの期間をもってRC工事（長都橋付近全長二百mと新恵庭橋付近全長三十二m）を担当し、第三三七施設中隊（中隊長 岡本美弘一等陸尉）が担当して実施している。

本年度の工事区間を「夢区間」と名づけ、中隊長以下三十名がドーザー、油圧ショベル、ダンプ、マカダムローラー等の器材を駆使しながら、道路の完成を夢みて、連日、一生懸命の作業を続けている。五月中旬には掘削及び凍上抑

制層構築作業を予定通り完了し、現在暗渠構築作業を実施している。
 これからの作業は、下層・上層路盤敷設作業、コンクリート舗装工事、仕上げの芝張り作業で工事の核心部分にはいる。
 今年の夏は、不順な天候で気温の差が激しく、各人それぞれに体調を整えるに苦勞をしているが、中隊長を核心として隊員は現在、士気旺盛、「この道路は俺達が造る道路だ」「俺達の實力を示さず」と意気込んで作業を行っています。
 十一月には、立派な「夢区間」が誕生する予定です。



宝 石 創 業 8 4 年 貴 金 属
 防衛庁共済組合岩見沢支部契約店
(株)太田時計眼鏡店

岩見沢市1条西4丁目
 TEL.0126-23353 23354

サンブラザ ウエディングプラン
エメラルド
 挙式から披露宴までのすべてをセットしてこの価格！
 ご両家ご負担 **25万円**

ホテルサンブラザ
 岩見沢市4条東1丁目 ☎23-7788



千葉電気工事株式会社
 代表取締役 **千葉 嘉 男**

岩見沢市東山町2番地71
 電話 (0126) 24-4567番

平成四年度通常総会

盛大に開催し案通りに可決

(隊友会岩見沢支部)

平成四年四月十六日一四時からホテルサンブラザで、平成四年度通常総会を開催し、出席四三名、委任状七一七名により、まず始めに岡田支部長の挨拶があり「最近の支部会員の状況や今年の事業及び会員の健康管理に留意を」と。その後、議長の選出で小田氏が選ばれ議事にはいって。

平成三年度事業報告、会計決算報告並びに監査報告が行われ、続いて平成四年度事業計画並びに会計予算案の協議提案、規約の一部改正提案があり、全般の質疑事項については特に質問事項もなく案通り可決した。

この後、表彰式を行い、永年にわたり当支部に貢献のあった方がたに対し、表彰状と功労賞が贈られた。

受賞者は、田中久氏、櫻井久夫、穂積善太郎氏(以上出席者)、風間八郎氏、田辺民雄氏(以上欠席者)が支部長から表彰を受けた。
今年度は、役員改選もない年であり予定時間より早めに終

了した。

一六時三〇から同場所において来賓も一緒に記念写真を撮り、一七時から懇親会にはいった。この席には今年初めての来賓として岩見沢市の協働団体などにも案内を出したところ、岩見沢市から市長代理として坂下助役、自衛隊協力会から笠原会長がまた、現職からは影井業務隊長他十二名が出席された。

毎回仕事の都合などで出席が一年に一回の人もあり懐かしくそれぞれ相談し現在元気で第二の人生を送っている人や、悠々自適に過ごしている人など様々な人生を語り合っており、そして若き半生を過ごした辛さや思い出などに花を咲かせた。

また、今はやりのカラオケで自慢の歌を聞かせ二時間はあっという間に過ぎ去ってしまった感じがであった。
最後に昔懐かしい北部方面隊歌を合唱して、自衛隊OBらしさを演出して終了した。



(総会での支部長挨拶)



(記念撮影)



(永年功労表彰)

職場紹介 有限会社 本山測量事務所

現職自衛官の皆様、そしてOBの皆様益々お元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

今年度、岩見沢市はクリートングリーン作戦の名のもとに市街地の環境美化を始めました。特に、利根別河には力点を置き、道の支援を受けながら桜並木の公園化を図り、整備をしていることは皆様がご存じのことと思います。

その七条河畔の山七公園寄りに地下一階、地上二階の本山測量事務所の建物があります。

そこに勤務するOBは、岡田専務(現岩見沢支部長)を筆頭に総勢四名(田中、風間、青木)がわがOBと言うことになりました。いずれも退官後、十年近くから十五年を経た老兵ではありますがそれぞれ本業の測量調査設計に従事してある本によれば、三十年

前の同年齢の人と現在の人の実年齢に対する身長の年齢は七十%から八十%だと言いつつ、まだまだ身を持ち崩す危険さえある年齢かも知れません。(それは、オーバーなことか

も知れませんが) いずれにしても心身ともに健康であることに感謝しながら、全道的な業務範囲の中で、それぞれ頑張っていることを報告させていただきます。

ねがわくば後進のOBとなられる方で当OBの後継者として勤務してくれる人のあることに密かな思いを持ちながら待っているこのころではあります。

時代は日進月歩、技術面でもその速度は日増しに高まっています。コンピュータを駆使しつつ老兵は時代の進歩に喘ぎながらも取りつく島にたどり着こうと懸命に頑張っているのが実情であり実感です。どうか吾が愛する後輩の諸君！臆する事なくそれぞれの特技を活かし、時代の進化を見開き努力され必ず来る退官後のために精進されん事を望むわけであります。

人生は前述の如く若くして頑張れる年齢でもありません。そして頭脳も若いはず、高年齢者の九十%は働きたい希望を持っているという現実。求

人難の時代でもある。今がチャンスと捉え売り込める人の多かれと祈っている。因みに我が社の業務内容などを紹介して終わりとしませう。



左から田中、青木、岡田、風間の各氏

有限会社 本山測量事務所 代表取締役 本山 有里

託業者として北海道知事表彰を受けています。
在社OB青木 記

「今昔」

PKO法案は、自由民主党、公明党、民社党の賛成多数で今回の国会で可決成立したが、OBとして無関心ではおられなかった。
時代も警察予備隊、保安隊、自衛隊と昭和一五年八月発足以来四二年を経過しているが、我々が入隊した頃とは格段の変わりようである。

昭和三年には私は北海道に來たのであるが、当時でも中隊から一名を募るのに相当長期を要した。一時は中隊長が指名もしてみしたが、退職をほめかしく中止したのである。私は、このことを聞いて腹立たしくなり、早速中隊長に私が希望すると言いつつ渡したことを思い出す。

PKO参加に当たっては、どのような方法で隊員を募るのか知る由もないが、後顧の憂いのないような安心して出かけられる処遇が必要であろうと思います。

これから始まる訓練もいよいよPKO派遣を考慮したのも多くなろうと思われ「世界」の目が注がれる重要な仕事が眼前に現れようとしている。

私も若かったら参加してみたいものだと思えているのだがそれのみならず、これから振り返りながら、これからこの仕事に挑む隊員諸君のますますのご精進を祈念してや

まない。若いうちは色々な経験をしてみることがお勧めしたい。
長崎 記

あとがき(提案)

昭和三〇年半年ばから支部が結成されてより、既に三〇余年が過ぎて岩見沢支部も徐々に髪の手も薄くなりつつある人がひととが散見されるがそれに伴い亡くなる人も増えてきている状況である。
約三〇年を自衛隊で過ごしたこの人達の内助の苦言をされた奥様方は、今一人寂しく毎日を送らされているのではないかと察するものであります。

我々会員が今後この人達の御苦労に報いることは、現在の自衛隊の状況や隊友会の状況などをお知らせしたり、また、支部の集まりなどに招待するなどして準会員扱いをし、共に苦労した仲間を相互扶助してやることも配慮したらいかがなものかと考える次第である。

会員諸君の忌憚のない意見などをお待しております。
長崎 記

オール電化マンション
レジェンド (有)エィ
連絡先：岩見沢市6条西7丁目
☎22-0087

総合商社
君島商会
株式会社
〒112-0013 東京都中央区本町2-10-10
☎22-2366
〒114-0008 東京都荒川区東尾花3-2-2
☎22-6434
〒113-0041 東京都文京区小塚4-2-2
☎22-7881
〒114-0008 東京都荒川区東尾花3-2-2
☎22-6434
〒113-0041 東京都文京区小塚4-2-2
☎22-7881

ビル管理資材、清掃用具、日用雑貨
ビルメンテナンス(知事登録、北海道元清第6号)
はしもと商事有限会社
代表取締役 橋本 了
岩見沢市駒園5丁目6番地
TEL代表(1026)22-5546
FAX (0126)22-5546

駐屯地盆おどり大会

八月六日、岩見沢駐屯地子供盆踊り・仮装盆踊り大会が近傍の子供・町内会チーム等の参加を得て駐屯地営庭で盛大に行われた。

天候にも恵まれた盆踊り大会は、前段の子供盆踊りでは、ゆかた姿の可愛い子供達が南町子供会の威勢のよい太鼓にあわせ、踊りを楽しんだ。

後段の仮装盆踊りでは、各町内会、各中隊から参加したチームが、それぞれ趣向を凝らした衣装で参加し、北海盆唄や太鼓にあわせ、町会は山伏姿やハワイアンスタイル



盛大に行われた盆おどり大会

第五回司令杯少年野球大会 上幌向子供会優勝

六月十三日、開会式に引き続き第一試合を開始した野球大会は途中から降り出した雨にゲームの進行が遅れたものの、なまら順調に進み六月二十一日の決勝戦で上幌向子供会が二度目の優勝をかざった。

今年の少年野球大会には、岩見沢市内の各町会から十七個チーム(二百五十名)が参加したトーナメントにより二会場で熱戦を繰り広げた。

各試合とも元氣一杯はつらつとしたプレーや珍プレーに応援にも熱が入っていた。

熱戦の結果、上幌向子供会が平成二年度第三回大会に続き二度目の優勝を飾った。

四位までの成績

準優勝・幌向南子供会
第三位・日の出こがし子供会
第四位・緑清子供会



～ファイト～

夏休み少年キャンプ

七月二十八日から二十九日の二日間、陸士会主催、曹友会後援による夏休み子供キャンプを駐屯地及び孫別演習場で行った。子供キャンプは今年で四回目を数えるが、六中隊三沢士長を核心とする陸士会が企画・運営全般を実施するのは今回が初めてである。

今年のキャンプには、市内の小学生男女あわせて九九名の子供が参加して設営から始まり、ボート遊び、すいか割り

七月二十八日から二十九日の二日間、陸士会主催、曹友会後援による夏休み子供キャンプを駐屯地及び孫別演習場で行った。子供キャンプは今年で四回目を数えるが、六中隊三沢士長を核心とする陸士会が企画・運営全般を実施するのは今回が初めてである。

今年からは、担当の人と子供達がすっかり仲良しになり、お兄ちゃん、お兄ちゃんと呼びながら「来年もまた来るからね」と手を振りながら元氣に家

路についた、運営全般にあたった陸士会及び後援の曹友会役員の様子が写った。



ロープ遊びに大喜びの参加者

二千本桜

北海道も新緑が鮮やかな季節となり、各地で植樹のニュースが聞かれる時期になりました。

我が岩見沢駐屯地も平成二年度から五カ年計画で開始された「駐屯地二千本桜」構想も二年目を迎えて、隊員及び市民の熱い場となるよう着々と計画が進められています。

今春も、五月六日から五月九日の間、春の植樹が行われ、九日には近隣市長村長、協力会・父兄会、部隊関係者等多数をお迎えし「植樹祭」を実施しました。

席上、駐屯地司令から「桜の名所」を加えて「桜の道」を造り上げたい。と挨拶があり、来賓一人ひとりが真心をこめて植樹に汗を流しました。



桜の植樹

安心しっかり
愛車もしっかり

車検費用積立プラン

富士火災

担当 松浦直樹
岩見沢支社 Tel 23-5142

●年金と医療保険のバイオニア
●生涯の保障に終身保険(明朗)

頭金制度により毎月安い
保険料で大きな安心

東邦生命

担当 深沢 隆子 (内327)

時代を一步リードした
中庭のあるモデル住宅

柏崎建築設計事務所
建設請負 柏崎建設株式会社

代表取締役 柏崎 昭明

会社 岩見沢市11条西1丁目
電話(代)23-2129番
木工場 岩見沢市東山町
電話24-1725番

完全週休特集

土・日曜日の過ごし方

第三三五施設中隊
陸士長 平野 隆



五月から完全週休二日制になり、益々趣味・娯楽等に集中できる時間が増えました。ましてや、陸士長以上は朝帰りが出るのでとにかく大いにプライベートな時を過ごせるようになったのは大変良いのですが、ただ寝て過ごすなどもったいない事は避けたいものです。

ところで、みなさんはどうやって休みを過ごしているのでしょうか？スポーツ・レジャー等細かく分ければきりがなほあるでしょう。私も一応趣味はあります。が、ちょっと一風変わった趣味を持ってます。それは音楽鑑賞ならぬ音楽創造という趣味です。簡単に言えば楽器を使わずに音楽を作成すると言った具合です。

どういう事かと言うと、最近益々使用頻度が高くなって来たパソコンを使用して安値で買えるようになってきたシンセサイザーを使って市販されてないままのオリジナルの曲とかアレンジジャブジョン等を複数ではなく一人で作ってしまおうというかなり高級な趣味もっています。最大のメリットは、楽器を

行ってみたくなる。もう二万Km程走った愛車のTWR200。メーターに時を刻んで行く。岩見沢はどこへ行くにも都合がいい位置にある。それで、土・日あちこち走り回る。夕方で入れる露天風呂へ行く。そこでボールトする。気がそうやって土・日を過ごす。またどこかへ行ってみたい。九州から来た私にとって、北海道は大変魅力的な所である。バイクの免許はこっぴど取りました。東北や関東、京都まで走った事があるが、北海道に帰って来るたびに「これだよ！この感じ！」と思ってしまうほど素晴らしい。駐屯地にも、もっとライダーが多くていいと思う。これからの夏、私と一緒に日帰りツーリングにでも行きませんか。

現に、一回ほど結婚式で自分の作ったラップが使用されたり自ら、キーボードでバックドラムをたたいたりして影で趣味を活用しています。他には、下宿を大いに利用するように色々な屋内趣味を持っています。

最近、車を買ってドライブ、ショッピングなどアウトドアもできました。趣味・娯楽等はただ単に暇だから時間をつぶすためにやるのではなく、自分のやりたいことを時間の中でとだけやって、その成果を喜びとして明日への活力になるべくやっているように思います。

私は、こういう考えですが、皆さんはどうでしょうか。本部管理中隊
三等陸曹 新原 春義



私はこの季節バイクに乗る。風を感じる！。緑を吸い込む！。丘を越え大地が広がる。緩やかなカーブを描き道が続いている。その向こうに

あらためて勉強ということから離れて読むとその時には判らなかつた内容が見えて来る。色々なものの考え方や他人の気持ちというものが最近少しずつ判って来たような気がする。有名文学に限らず本を沢山読む事によって自分の生き方、プラスになるのではないだろうか。

皆さんも週末にはマンガばかりではなく本を読んで自分を考えてみてはいかがですか。

皆さん、土日の休日ほどのようにお過ごしでしょうか？私は、まず朝七時前後には必ず起きて玄関の清掃等をし、たまに気が向けば草刈をしたりする時もあり、朝起きてから一時間位は何かかにかして体を動かしています。日中は、皆さんも存じの軟式野球の全道大会に何回も出場しているイーグルス野球部に所属し汗を流しています。

このチームは巨人の十連勝も話にならないほどの勢いがあります。何せどんどん勝ってしまうのですから。土・日は、ほとんど野球づけです。野球が終わると疲れて横になって居るうちに、いつの間にか寝ているというケースが多く特にこれと言った計画もないまま一日が終わってしまいます。このように、いまは野球に

私の土・日曜日の過ごし方は、主に読書です。週末に読書というのにはありふれているけれども、自分としてはなかなかいいものだと思ふ。小説でも読みながら時間を静かに過ごす。心にゆとりを持った時間の使い方もたまにはいいのではないのでしょうか？

最近、私がよく読むのは、学生の時に勉強で読んだ有名な文学小説で、あの頃は勉強ということであまり面白味が湧かなかつたものだったが、

明け暮れる土日ですが野球のない日には別の必ず継続して出来る何か目標を持って有意義に過ごしたいと思ふます。完全週休二日制になった今、土日の使い方がとても大切になって来ると思うので

前期教育を終了して

六月二十日、ついに長かった前期教育を無事終了することが出来ました。思い起こせばまだ雪が残る三月下旬、不安と希望を胸に抱きながら岩見沢駐屯地の門に足を踏み入れてから瞬く間に三月月という時間が過ぎ去

ひしと伝わってくるのを感じ、「本当にいい物を作りたい」と中隊の全員が思った事でしょう。作業期間中は、あまり人と話す機会はありませんでしたが午後からジンスカンの時ピールの勢いも手伝ってあちこちのテーブルで会話に花が咲き、若い隊員の中には「いいな！こういう支援だったら毎年参加したい」と言う声が出る程でした。

こういった支援の場を与えてくれた月形町役場の方々、本当にありがとうございます。この行事をいつまでも続けていき、月形町と六中隊の絆をより一層深いものにしていきたいと思ふます。

吾が中隊の広報担当地区である月形町の植花事業支援も、三回を数えるようになってきました。私は、植花支援に参加するのは今回が初めてであり、多少の不安を抱きつつも全作業が無事に終了出来てよかったと思ふます。特に植花当日には、約七百人の月形の人達が参加をし和気相合と作業をしている中にも、地域の活性化を図ろうとする気持ち

初期は基本教練の毎日、一つの動作を四十人で合わせるのには、とても大変でした。宮庭にテントを張って行った。ガス体験の訓練は、とても忘れられない思い出のひとつです。それから、六四式小銃を使って行った新十津川射場での実弾射撃も撃つことの楽しさと標的に当たらないかった時の悔しさを覚ええました。

しかし、訓練の中で一番辛かったのは東千歳演習場の二十五Km行軍でした。とても重い背のうを背負い高低差の激しい山道を歩き通した時は言葉に出来ない程の感動と満足感で一杯でした。これから後期教育へと移って行くわけですが、この三月月間で学んだ事を決して忘れずにこれからも頑張っていきたいと思ふます。

前期教育を終了して

◆月形植花支援に参加して

◆前期教育を終了して

◆前期教育を終了して

◆前期教育を終了して

◆前期教育を終了して

◆前期教育を終了して

◆前期教育を終了して

◆前期教育を終了して

◆前期教育を終了して

近江建設株式会社
 特定土木建設許可・一級建築士事務所
 本社 岩見沢市4条東17丁目48番地 電話23-3026
 支社 三笠市唐松町1丁目374 電話2-3179
 営業所 札幌市中央区南2条西5丁目
 ロジエ札幌25 806号室 電話011-222-5359
 営業所 三笠市幌内本 沢町 電話2-5403

株式会社 本堂建設工業
 取締役社長 本堂 春夫
 本社 三笠市機春別町4丁目
 電話 (01267) 66-8288 FAX (01267) 6-8030
 札幌支店 札幌市白石区本通1丁目南1
 電話 (011) 861-1381 FAX (011) 865-5034
 石狩支店 石狩町花川南1条1丁目11
 電話 (0133) 73-3111 FAX (0133) 73-0754

— コニカカラー百年プリント —
 カラープリント45分仕上げの店
カメラの田沢
 ビデオ
 <各種クレジットカードOK>
 岩見沢市1条西4丁目 ☎22-4848

みんなの広場

岩見沢駐屯地に勤務して



314基通中派連隊 陸士長 濱松 容子

父の仕事の都合で岩見沢に米たのが今から十一年前、それまでは一幸せの黄色いハンカチで有名?になった撮影現場(夕張)の側で幼少時代を送っていました。今となっては、こ岩見沢が私の故郷となりつつあります。

炊事競技会に行つて

鈴木(群長夫人)

仁美さん

「山菜を食べられるよ」という言葉に誘われて出掛けた炊事競技会。恵庭演習場の一面に大きなテントが並んでいる。

炊事車、給水車をして野外での不慣れた作業。これが演習中の調理風景なのです。

短時間の内に各中隊の腕をふるった食事が次々と出



会食中の仁美夫人

趣向を凝らした天つゆ。盛りつけなどあちこちに苦心のあとがうかがえて感心させられました。中でも野菜を刻む包丁さばきはまさにプロの腕。思わずみとれてしまうほどです。包丁も良く切れそう。この次は包丁による切り方の腕くらべなどやってはいかがでしょうか。

来上がる。趣向を凝らした天つゆ。盛りつけなどあちこちに苦心のあとがうかがえて感心させられました。中でも野菜を刻む包丁さばきはまさにプロの腕。思わずみとれてしまうほどです。包丁も良く切れそう。この次は包丁による切り方の腕くらべなどやってはいかがでしょうか。



テニス講習会に参加して 佐伯(3科長夫人) みゆきさん

「佐伯さんチョットと」また、コーチの声、私がバックで空振りをした直後の事です。今日は、駐屯地テニス講習会の初日です。主人に頼んで、テニスの講習会に参加はしてみたものの、参加者十二人中、自分を除いてほとんどの人がテニスの経験者であり、初心者私だけ、私ももちろん今回が

全く初めてではなく、今迄にも主人と何回か一緒にテニスはしたものの、こんなに正規の講習を受けたのは初めてで、自称「上手」と思っている主人も、コーチ達に比べたら及ぶべくもなく、一回目の講習会でありながら、恥ずかしいばかり。

「二回目からは行くのを辞めようかなア」と思ったりもしました。それでも子供達に「何でもやる限りは、最後まで頑張ることが大切。途中で投げ出すのは最低の人間のことよ」といふ言葉を聞いて、私も頑張ります。また、「日の出焼き」の陶芸教室にも参加を希望しています。私は、これからも部隊や地域の行事に積極的に参加し、地域の奥様達と仲良く楽しくやっていきたいと思ひます。



312施設器材中 三等陸曹 吉田 聖孝

私は初めて工事というものに参加しました。この工事は、美唄駐屯地のすぐ横の敷地で腐った板やゴミ等を処理する工事で五月下旬から六月上旬の約一週間の作業を小隊長以下十四名で行いました。器材は、七トンプ四両、油圧ショベル、バケットドーザー等を使用しました。私は、ダンプの操縦手として参加し美唄駐屯地の演習場に運搬する作業をしていました。

たします。

RC工事に思うこと



第337施設中隊 大西 賢生 三等陸曹

本年度、我が中隊の最大の目標は、「夢区間」RC工事の完遂である。私の現在の作業は、火山灰運搬のためのダンプ作業を行っています。必要とするため、一日中ダンプに乗っていて、とまれば同じ事の繰り返しに嫌気がさすこともありすが、少しずつ仕上がっていく現場を見ながら完成の喜びを思い浮かべながら、気を取り直して頑張っています。

日々、夏の日差しが強くなり暑さもピークになってきましたが、これからRC工事も大変な時期を向かえようとしてい



第337施設中隊 石井 篤 三等陸曹



第335施設中隊 沢谷 卓司 一等陸士

夢区間 それは長都橋から南へ距離にして二百メートル区間である。なぜ「夢」なのかそれは、三三七施設中隊にとってこの区間の完成が今年度の目標であり、我々大人の大きな夢だからである。

自分は中隊に配属になり一年が過ぎましたが、その間、訓練だけでしたが自衛隊だと思っていました。今、三笠工事に参加するのと同じとき初めて部外工事や部内工事があることがわかりました。

僕は今回、干作業班の一員として参加しましたが工事の内容は、小学校の解体というも分かりませんが、今では一緒に参加した奥様達と気軽に「今日暇、じゃテニスに行こう」と声をお互いにかけて合うようになり、部隊の講習会が終わってからも、地域の同好会にも入り、毎週一回以上テニスをやり楽しんでおります。

岩見沢駐屯地は、部隊の行事が盛んなようで、先日も部隊の演習場で山菜採りがあり、それにも参加しました。また、「日の出焼き」の陶芸教室にも参加を希望しています。私は、これからも部隊や地域の行事に積極的に参加し、地域の奥様達と仲良く楽しくやっていきたいと思ひます。

ています。施設科につきものの撤収作業がなく、後々残るものを作るという意味で、「夢区間」と名づけたその名に恥じないようには、こは吾が七中隊が造り上げた道なんだと胸をはって誇れるように妥協せず納得のいく仕事をやりとげたいと思ひます。

マンと夢を抱き工事は日夜続いていく。眠りにつくときも、工事完成後の舗装道路をそ装軌車が通過する姿を頭に浮かべながら、皆深い眠りについていると思う。完成時期まで中隊長を核として、中隊一丸となって任務の完遂を目指しています。

自衛隊でもやった事のない内容です。最初その校舎を見たとき、おぼけでるんではないかと思ひました。まして器材監視で四名一組で校舎の側のプレハブに泊まると聞いたとき冗談じゃないと思ひました。でも、泊まってみると結構居心地が良く、体のつかれもとれました。

積載現場から卸下現場までの距離は短かいのですが演習場の道路は狭い上に、雨が振り続けているため路面も緩み、民間ダンプも走っていないため、側溝に滑り落ちないようお互いに譲り合いながら運転していました。初日、二日目と作業は順調に進み、三日目は好天に恵まれ、より一層作業が進むかと思ひましたが、雨の影響で釘や針金等が地面から浮き上がりパンクが頻出し、パンク修理で一日が終わってしまいました。不思議なことと同じ経路を使っている民間ダンプはパンク一つしないのです。良く考えてみると、自衛隊のノルマ達成と民間の営利目的の根本的な違いがあるのだと思ひ、見習うべきで勉強になりました。

ゴミで一杯だった敷地も工事が進むにつれてきれいになり、本工事も無事終了しました。今回の工事のように、自衛隊と民間とが一緒になって作業することも、いろいろな意味で良い勉強になりました。

駐屯地詩吟部たより

六月七日、ピクチャー音楽産業主催による第二回詩吟コンサート。札幌市教育文化会館大ホールで開催され、部長の坂田曹長(会計隊)が出席し、見事入賞の成績を収めました。坂田曹長はピクチャー音楽産業吟友会北海道支部所属で北海道詩吟連盟(衆仲)師範。朝梨流(俊鷹)師範として活躍しています。また、六月十四日、北海道詩吟連盟上期審査会が岩見沢市民会館で行われ、加藤一尉(会計隊)が見事三段に合格しました。

昇任 おめでと

第十二施設群

- 一等陸尉へ 山本 九士(器材中)
- 二等陸尉へ 三家本 勝志(七施中)
- 三浦 勝行(器材中)
- 田村 保明(二施中)
- 衛藤 栄治(七施中)
- 三等陸尉へ 井田 吉昭(本管中)
- 准陸尉へ 高倉 利美(本管中)
- 陸曹長へ 山口 治次(本管中)
- 戸之口 宏行(本管中)
- 小柳 隆(五施中)
- 望月 烈(七施中)
- 高田 友吉(器材中)
- 一等陸曹へ 中川 由(本管中)
- 宮崎 勝彦(五施中)
- 伊藤 一則(器材中)
- 岡山 晴幸(二施中)
- 阿部 誠(二施中)
- 天野 憲一(二施中)
- 二等陸曹へ 増川 政司(本管中)
- 井本 哲吉(六施中)
- 柴田 周二(六施中)
- 石川 信明(七施中)
- 西村 康彦(二施中)
- 米田 正伸(二施中)
- 三等陸曹へ 奥田 浩一(本管中)
- 西村 貞幸(五施中)
- 多田 正樹(六施中)
- 五十嵐 秀樹(六施中)
- 中島 雅志(七施中)
- 石井 篤(七施中)
- 長田 聡(器材中)

☆人事往來☆

行く人

第十二施設群

- 一尉中司 博之(北総監部)
- 一尉佐々木洋一(北総監部)
- 二尉関本 修(北総監部)
- 一曹土屋 英雄(岩 業)
- 一曹浦木 実(札地連岩)
- 二曹古賀 博(岩 業)
- 二曹藤井 幸雄(岩 業)
- 二曹瀧田 修一(名寄342施)
- 二曹大西 清治(名寄342施)
- 二曹細谷 信明(名寄342施)
- 二曹横山 光生(2施群)
- 三曹内藤 利夫(南恵庭)
- 三曹内藤 亮二(13施大)
- 調査隊
- 一尉幸田 稔(北恵庭調)
- 業務隊
- 二曹後藤 潔(11戦車大)
- 基地通信隊
- 二曹林 大介(美眼基通)

来る人

第十二施設群

- 二尉川口 和則(103施大)
- 一曹平尾 孝(名寄342施)
- 一曹河合周四郎(名寄342施)
- 一曹児玉 光二(名寄342施)
- 一曹阿部 誠(名寄342施)
- 一曹夏井 昇(岩 業)
- 二曹大石憲士郎(9施群)
- 二曹今井 始(12施大)
- 二曹佐藤 浩(岩 業)
- 二曹田端 一雅(南恵庭)
- 三曹原田 正明(南恵庭)
- 業務隊
- 二尉小島 静生(105器材)
- 調査隊
- 一尉本田 家也(札 幌)
- 二曹生内 弘司(滝 川)
- 第三二七会計隊
- 曹長大橋 一男(436会社)

栄光をたたえて

- 第三級賞状(募集) 本部管理中隊受賞
- 第四級賞状 第三三七施中(募集)
- 第三級賞詞 群本部
- 一尉 佐々木洋一(職) 7.31
- 本部管理中隊
- 二曹 滝田 修(職) 7.31
- 二曹 川島 武(職) 7.31
- 三曹 斎藤 護(募) 7.31
- 三曹 斎藤 護(募) 7.31
- 三曹 山口 和人(職) 7.31
- 三曹 千葉 孝幸(車) 7.31
- 三曹 小見 一仁(車) 7.24
- 一尉 中司 博之(職) 7.24
- 本部管理中隊
- 曹長 長堀 信光(職) 7.24
- 二曹 小見 一仁(車) 7.24
- 二曹 松田 務
- 三女 めぐみちゃん 4.12
- 第三三六施設中隊
- 一曹 上杉 高正
- 長女 菜摘ちゃん 5.16
- 第三三五施設中隊
- 二曹 西森 敏夫
- 三男 惇くん 7.4
- 第三三七施設中隊
- 二曹 吉田 哲也
- 長男 勇太くん 7.6
- 第三三六施設中隊
- 曹長 岸良 省三(職) 7.31
- 二曹 吉田 哲也(職) 7.31
- 第三三七施設中隊
- 曹長 澤田 哲明(職) 7.31
- 第三四二施設中隊
- 二曹 小松 勝重(職) 7.31
- 第三四二施設中隊
- 士長 沼田富士男(車) 6.2
- 第三二二施設器材中隊
- 二尉 三浦 勝行(職) 7.31

★職場紹介「糧食班」★

高藤曹長記

第十二施設群及びその他関係部隊等と密接に連携して隊員のニーズを反映させつつ合理的、効果的な給食業務を推進するとともに、隊員の体力向上に必要とされる「うまい食事」の支給、食中毒防止を目標に業務を実施しています。

糧食班の編成は、糧食班長渡部二尉以下本部要員十一名、中隊からの勤務員九名(二交代制)パートナーさん二名で糧食班全員一丸となって業務を実施しています。

また、月一回厨房整備日を設定して器材の整備、清掃等を実施して快適な環境で楽しい「うまい二度のメシ」を食べてもらえるよう努力しています。

食中毒予防のため食事前には必ず手を洗いましう。

一人は全員のために、全員は一人のために気をつかいたいものです。

最後に皆さんにお願いがあります。

定年退官

- 第十二施設群
- 三等陸尉 芳野 栄
- 住所 日の出台一丁目七十四
- 就職先 岩見沢駐隊員クラブ
- 6.11

◎新婚さん◎

- 本部管理中隊
- 士長 山田 友貞
- 妻 千秋さん 6.1
- 第三三六施設中隊
- 曹長 渡田 啓之
- 妻 由香さん 6.1
- 第三二二施設器材中隊
- 士長 木村 一成
- 妻 智美さん 7.6
- 第三三六施設中隊
- 三曹 青木 広幸
- 妻 由貴さん 8.1

頑張ってます



本部管理中隊 整備小隊 2等陸曹 今野勝美

グルメブームといわれる昨今、わが駐屯地のグルメは

自衛隊退職者雇用協議会 岩見沢支部

事務局：岩見沢市商工会議所内
支部長：勝井 祐輔
TEL：0126-22-3445

おしゃれの店
洋品のマルカワ
高橋邦夫
岩見沢市3条東1丁目 ☎221224

.....だから
二人の時間を刻みたい
よろしければ.....
Iwamizawa
Heiankaku
Phone. 0126-23-4581 FreeDial. 0120-201143

安心とゆりのプラン
協栄生命 **LL・ワイド** 15 50 100
更新型
余裕資金を上手に活かして大型保障
協栄の保険料頭金制度をご利用ください
定期特約付終身保険
協栄生命保険株式会社